


 夢のつばさ♥プロジェクト

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長年にわたって支援することを目的として、お茶の水学術事業会を中心としたNPO法人4団体によって進められている事業です。

コロナ感染症拡大の混乱にオリンピック・パラリンピックが加わって、なかなか大変な夏でございましたが、皆さまお変わりなくいらっしゃいますでしょうか。

夢のつばさプロジェクトでは、この冬のキャンプも中止を決めました。お茶の水女子大学をはじめ、10名以上の大学生が新たに参加しているにもかかわらず、もうずっと子どもと触れ合う活動ができていません。子どもたちもちろん、学生たちががっかりしないかしらと心配しておりましたら、学生ボランティア代表から「安全に交流できるまでもう少し時間がかかりそうですが、今後もできることを精一杯考えて実行いたします。」と力強いメールをもらって、とてもうれしく思っています。

以前からお知らせしておりますが、子どもと学生たちの手紙交換企画は、現在11グループのやり取りが行われています。子どもは自分一人がいいか、他の子どもと複数名がいいかを選んで、学生2、3名とで1グループを作り、子どもと学生が交互に手紙のファイルを送ってやり取りしています。

内容は、「書くことがない〜」という子どもに向けて、学生たちが知恵を絞ってフォーマットを決めました。ちょっとした質問コーナーに記入していくことによって自然とページが埋まるようになっています。フリースペースもありますが、今週のGood news、Bad newsコーナー、お悩み相談/みんなに聞いてみたいことコーナー、おすすめのものを載せるなんでもランキング等があって、誰かの書き込みにコメントを書いたり、新たな手紙を追加したり、子どもたちも楽しんで待っています。いつも口の重い男子が、全部のコーナーを埋めてくれていることに学生が感激したり、学校での出来事を楽しそうに書き綴ってくれたり、いつもは知らない、見えない子どもの様子が見えて、学生たちからも好評です。

1年以上続けてきて少し交換ペースが落ちてきたグループもあり、内容を刷新して、新しい風を入れたい、そして新入の学生たちにも入ってもらおうと、再度参加メンバーを募集中です。

中学3年生の受験生に、学習サポートを行う試みも続いています。本年度は5名がこの企画に申し込んでいて、それぞれ2名の学生とともに、希望科目の勉強が始まっています。子どもたちはみなそれぞれ塾に通ったりしているようですが、保護者の方からは「塾に行っているのだけれど、どうも身が入っていない」「ちっとも成果が表れない」などという声も聞かれます。学生たちはSkypeなどを駆使

して、それぞれ担当の子どもと打ち合わせをしながら、本人に合わせた時間割を組んでいきます。ワークブックを購入したり、苦手分野を攻略したり、子どもの様子でやり方を工夫し、きめ細かな指導が行われています。

これは完全なボランティアですので、事務局からは、学生にまず、「他では報酬がもらえる仕事なのに、時間もずいぶん使うけれど報酬がない、また、開始したら、自分の体調や都合で中止しにくいし、大学生は自分の勉強が本分なので、それに障らないようによく考えてね。」と話して、納得してから開始してもらうようになっています。この企画が始まったときは、週1回、2時間ほどのことにどれほどの効果があるかと心配していましたが、担当の学生がそばで声をかけ続けてくれたり、ちょっとした不安に伝えてくれたりすることが本当に嬉しいようです。やる気も出てきたというお声を戴くなど、いつも子どもや保護者の方たちから好評で、学生たちもやりがいを感じているようです。

(夢のつばさ♥プロジェクト)

【口座】三井住友銀行 大塚支店(店番号227) 普通1284200

【名称】特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子 ※夢のつばさ♥プロジェクトの専用口座です。

※恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください。

ご寄付いただく際には、ご芳名、ご住所(連絡先)を下記までお知らせください。

連絡先:事務担当 滝澤公子 TEL&FAX:03-5978-5362 E-mail:tsubasa@npo-ochanomizu.org